

(4) そのほかのトピックス

ア 横浜市立図書館のあり方懇談会

将来の図書館像を見据えたサービスの実現と経営の効率化を中心に、有識者等から意見を聴取することにより、横浜市立図書館のあり方について検討を行いました。

横浜市立図書館の今後のサービスの重点方向や、効率的な管理運営、図書館の将来像について検討するため、学識経験者や市民団体代表を委員とする「横浜市立図書館のあり方懇談会」を設置し、検討を行いました。



「横浜市立図書館のあり方懇談会」平成18年度委員（敬称略）

氏名	職業	氏名	職業
伊藤紀久子	つづき図書館ファン倶楽部代表	小泉 哲雄	市民活力推進局区政支援部長
井堀 利宏	東京大学大学院経済学研究科教授	高山 正也	国立公文書館理事
金指真理子	(株)金明堂専務取締役	寺田 芳朗	建築家
金澤 和子	市民グループ「子どもと本」代表	廣瀬 通孝	東京大学工学部教授
マリ・クリ スティーヌ	異文化コミュニケーター	吉岡日三雄	横浜市立一本松小学校校長
		依田 和子	よこはまライフ「リフレンド」代表

「横浜市立図書館のあり方懇談会」平成18年度開催経過

第1回	平成18年10月17日	横浜市立図書館の現状と課題
第2回	平成18年11月21日	図書館サービスの重点方向
第3回	平成18年12月19日	効率的な管理運営
第4回	平成19年2月20日	市民との協働
第5回	平成19年3月12日	図書館の将来像

*平成19年度も継続

イ 財源確保のための取組

昨年に引き続き、図書館ホームページにバナー広告を掲載するとともに、夏季に図書貸出票の裏面に広告を掲載しました。また、新たな広告事業として、紙芝居用貸出袋に広告を掲載したほか、11月から13館に大学案内パンフレットラックを設置しました。これらの広告事業による広告料収入と経費節減効果の合計は、約340万円となりました。